

## 2018.1.14 日勝ピーク 1445m:「山ごころをたきつける」山旅

CL渡邊、スキー班：藤木、酒井、西田、相馬、山岸、若林、笹山、佐藤、水江、スノーシュー班：L 藤木た、西田昌、鈴木、門馬、太田、天候：快晴、微風、気温：終日マイナス推定-15℃から-5℃

タイム：室蘭 4：10 発→幌別 5：00→苫小牧西 5：50→日高ロッジ 7：55→登山開始 9：05→日勝ピーク 10：45→昼食後出発 11：30→下山完了 12：23：登り 1 時間 40 分、下り 53 分：標高差 436m

ロッジ泊り込み組に合流すべく、スノーシュー5 女傑は暗闇の中を出発。鵜川辺りで朝焼け・朝日がきれい。沙流川沿い至る所に 2016 年秋の台風の爪痕。自然の力に慄然。道の駅辺りで渡邊リーダーより電話あり、いつもながら細やかな気配りに感謝感謝。無事に日高ロッジ着。国道まで迎えて手を振る仲間に心もほっこり。感謝感謝。

トンネル手前の駐車スペースに先客あり。ここは山スキーの名所らしい。出ばなから急登だが体が温まって好都合。キンキンに冷えた空気が心地よい。スタート時すでに標高 1000m 超え。空気が軽くてキラキラ、ダイヤモンドダストかな。青空がいつもよりも近い。快晴微風の好コンディション。こんなに晴れた日勝はめったにないそうだ。疎林を超えると目指すピークが丸見え。高度が上がるにつれ急傾斜になりシグを切って登る。進行方向にペケレベツ岳、その先の日高山脈はガスって見えない。左手に十勝平野、振り返るとスキー組が昨日登った労山。山頂付近たくさんシュプールが残っている。誰が滑り跡かな？

峠の展望台をはるか眼下に望むころ、オドロキの絶景が待っていた。労山の向うにギザギザの山があるよ（芦別・西富良野岳かな）、それじゃ向かい側は十勝連峰だ。その奥の雲がかかっているところは？（大雪山トムラウシ山）、あの屏風みたいな山は何？（ニペソツ山）、十勝平野のはるか向こうの独立峰はもしかして（雌阿寒・雄阿寒）えーそんな遠くまで見える？わいわいと山座同定をする。北海道の名だたる名山がずらりと鎮座します。まるで世界の中心にいるような気分。予定よりも早くピーク着、風が強い。ちょっと下って膝寄せ合う楽しいランチタイム。まだ 11 時だよ。

帰り路、スキー組は堀グレンデへ。スノーシュー組は名山パノラマを堪能しながら来た道に戻る。降りるのもったいない。もっとこの景色を見ていたいね、。スキー組降りて来ないかなあ、と後方を振り返る。トンネルが見えてきたころスキー組と合流。華麗なターンやら思わぬ転倒やら、ぱっちり見ましたよ。

山頂まで一直線の急登でひと汗かきましたが、一度にたくさんの名山が見えて、得した気分です。1 時間 40 分の登りであの絶景、コスパの良い山でした。そして「いつの日かあの頂に立ってみたい」と山ゴゴロをかき立てられました。

渡邊リーダー、藤木たスノーシューリーダー、指導員の皆様、ご同行の皆様、ありがとうございました。

太田 記



Cont1250 より北東方向にウペハ、ニペソツを望む



Cont1250 より東方向に雄阿寒岳を望む



山頂付近より北方向の東大雪の山脈を望む